

## 病虫害防除技術情報第9号

令和 3年 7月12日

三重県病虫害防除所

**近年、斑点米カメムシの被害が増えています。  
出穂期の防除に努めましょう。**

1. 対象作物： イネ（早期、普通期）
2. 対象病虫害名： 斑点米カメムシ類（クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ミナミアオカメムシ、ホソハリカメムシ）
3. 発生状況
  - (1) 7月上旬の巡回調査で本田での斑点米カメムシ類の発生が確認されています。
  - (2) 過去15年の斑点米カメムシ類の発生圃場率は増加傾向にあります（図）。近年の暖冬と暑い夏の影響と推察されます。
  - (3) 1か月予報（名古屋地方気象台7月8日発表）によると、気温は平年並で期間の後半は晴れの日が多いことから、斑点米カメムシ類の活動に好適です。
4. 防除対策
  - (1) 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。
  - (2) 水田内での増殖を防ぐため、防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の7～10日後に追加防除を実施してください。
  - (3) 周囲よりも出穂の早い水田では、被害が集中するので防除を徹底しましょう。
  - (4) 出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。
5. その他
  - (1) 本年はウンカ類の発生が予想されるため、なるべく斑点米カメムシ類とウンカ類の両方に登録のある薬剤を用い、同時防除を行って

ください。薬剤は三重県農薬情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>) で検索することができます。

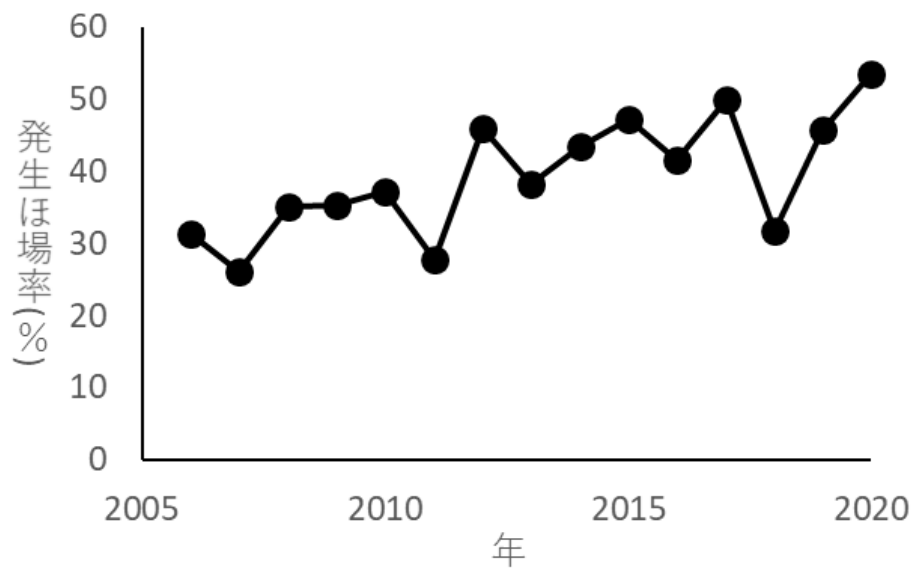


図 過去15年における防除所8月調査時の斑点米  
カメムシ類発生ほ場率

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。